

20年の歩み、そして新たな始まり

今から20年前、2005年11月、私たちはSteelwristの扉を開きました。資源は乏しくても、情熱は誰にも負けませんでした。日中はオフィスで働き、夜間と週末は製品づくりに没頭する日々。限られた資金を最大限に活用し、ほとんどの設備を中古で調達。そして時間を費やしたのは、ERP、CAD、CRMといった、将来に不可欠となるシステム構築でした。まだ小さな会社でも、大きな未来を見据えて準備をしていました。

創業当初から、私たちは3つの言葉を核とした明確な企業文化を築きました：スピード、シンプルさ、レスポンスの速さ。この言葉を中心に、「One Team（ひとつのチーム）」としての働き方が生まれました。努力を惜しまず、素早く学び、オープンかつ率直にコミュニケーションを取り、そしてたとえ多忙でも仕事を楽しむ文化です。3〜4年ごとに会社の姿は変わってきましたが、このコアは変わっていません。

私たちは、明確な差別化戦略も持っていました。コストパフォーマンスの高い製品、先進技術、優れたカスタマーサポート、標準製品の短納期。標準化は単なる効率化の手段ではなく、確固たる信念となりました。Sタイプ/Open-Sの道を積極的に推し進め、地域ごとの仕様の複雑さを避け、納期を短縮する努力を重ねてきました。車のラジオが一体化・標準化されたように、USB-Cが充電とデータを統一したようにチルトローテータも「オプション」から「標準」へ、そして「工場出荷時に装備されるもの」へと変化していくと、私たちは信じていました。そしてその流れは、今まさに現実となりつつあります。

今日、私たちは過去と未来のちょうど中間地点に立っています。世代交代のただ中にあり、第3世代のチルトローテータには、20年にわたる技術開発と顧客からのフィードバックが結集されています。そして、2020年のOpen-Sアライアンスの共同設立に代表されるように、私たちは業界レベルでの「開かれた協業」を通じて、標準化が進むことで進歩が加速すると信じて行動してきました。

これからの私たちの使命は明確です：より多くの施工業者が、より多くの地域で、あらゆる機械時間を最大限に活用できるように支援すること。世界的にはまだチルトローテータの普及率は高くありません。しかし、使ったことのある人なら誰もがその生産性向上に驚くはずです。このギャップこそが、私たちのチャンスであり、責任でもあります。

今後も地域への投資を続け、強固なチーム体制、現地在庫、短納期体制を構築していきます。Sタイプ/Open-Sを引き続き重視し、標準化によって複雑さを減らし、信頼性を高めていきます。省エネルギーで生産性を高める製品開発、そして油圧ショベルのOEMとのスマートな統合を進め、「工場出荷時にチルトローテータ対応」が当たり前になる未来を目指します。現場で本当に重要なディテール、つまり耐久性、整備性、そしてデジタル対応力をさらに磨いていきます。

そして何よりも、これまで私たちを導いてきた原点を守り続けます。スピード。シンプルさ。レスポンス。ひとつのチーム、素早く学び、率直なコミュニケーション。最高の仕事をし、共にそれを楽しむこと。この20年で学んだ最も大切なことは、文化は“掲げる”ものではなく、“実践する”ことで広がるということです。

これまでの歩みに関わってくださったすべての皆さま——社員の皆さん、パートナー企業の皆さん、そして世界中の顧客の皆さん、心から感謝いたします！皆さんが私たちを信じ、常に挑戦を与えてくれたことで、深夜に作ったプロトタイプが、今では日々の現場で欠かせない道具へと進化しました。共に築いてきたものを誇りに思うと同時に、この先の未来にさらなるワクワクを感じています。これからの20年も、どうぞ一緒に歩んでいきましょう。



スティーファン・ストックハウス & マーカス・ニルソン

Steelwrist 共同創業者

